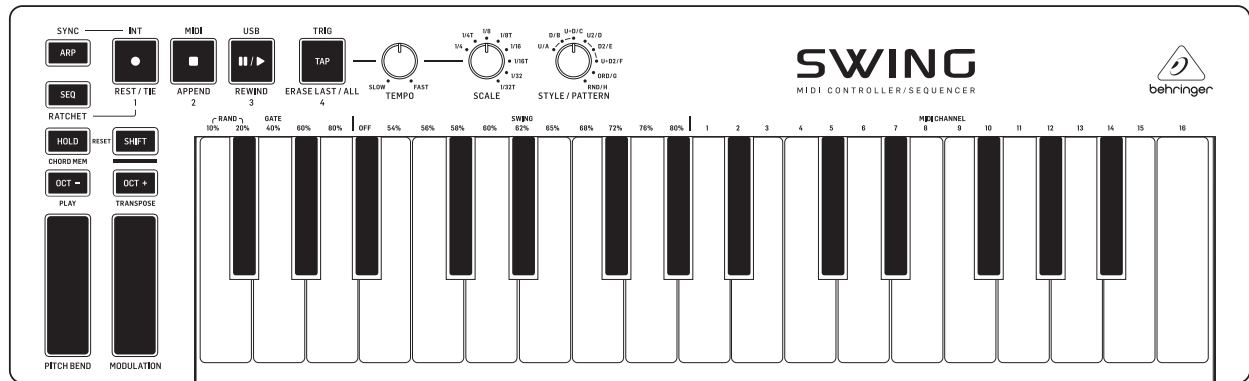




SWING

32-Key USB MIDI Controller Keyboard with
64-Step Polyphonic Sequencing, Chord and Arpeggiator Modes

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2022 無断転用禁止。

限定保証

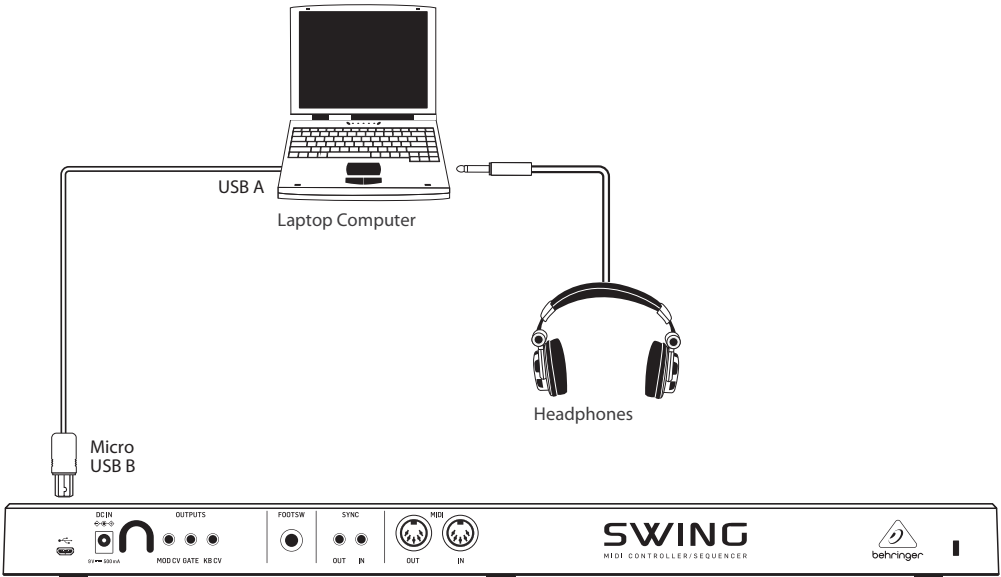
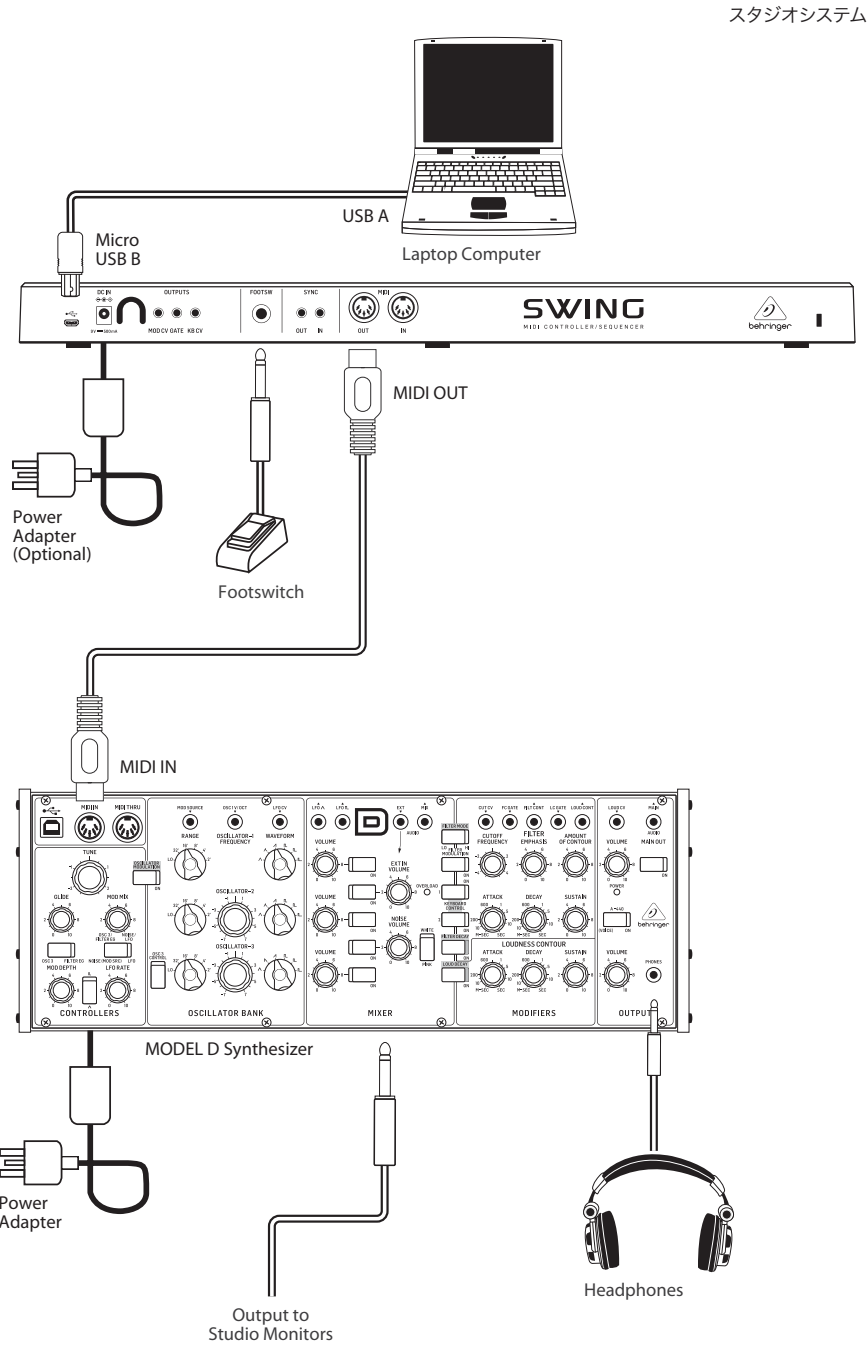
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

SWING フックアップ

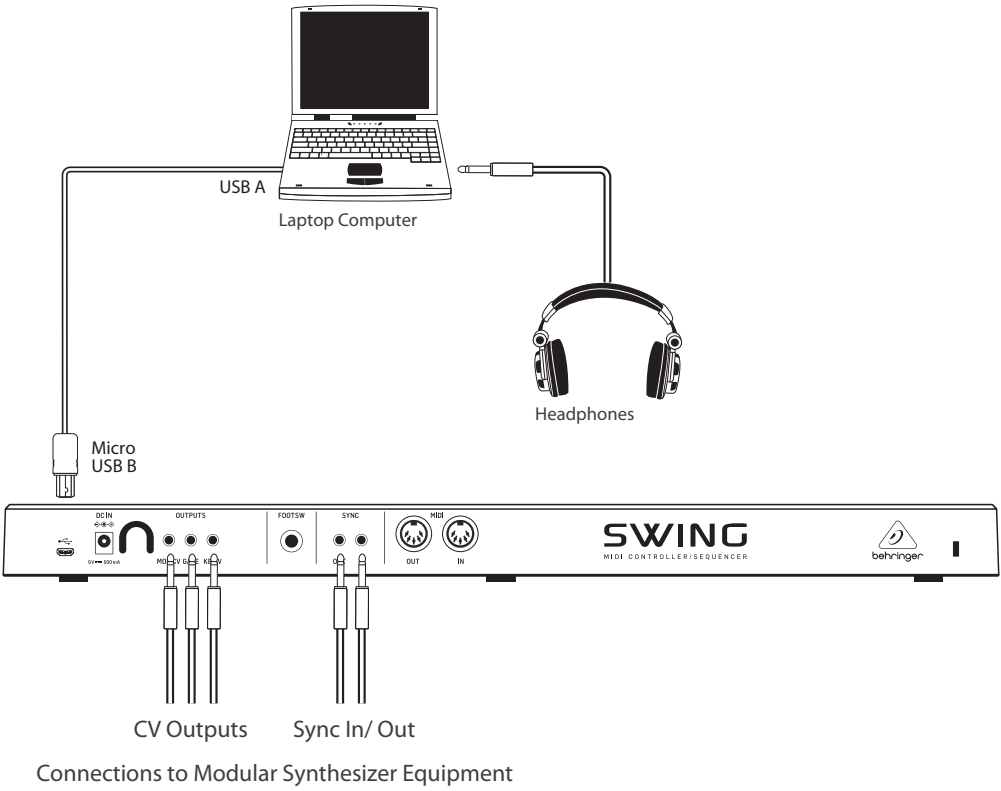
JP

ステップ 1: フックアップ

練習システム

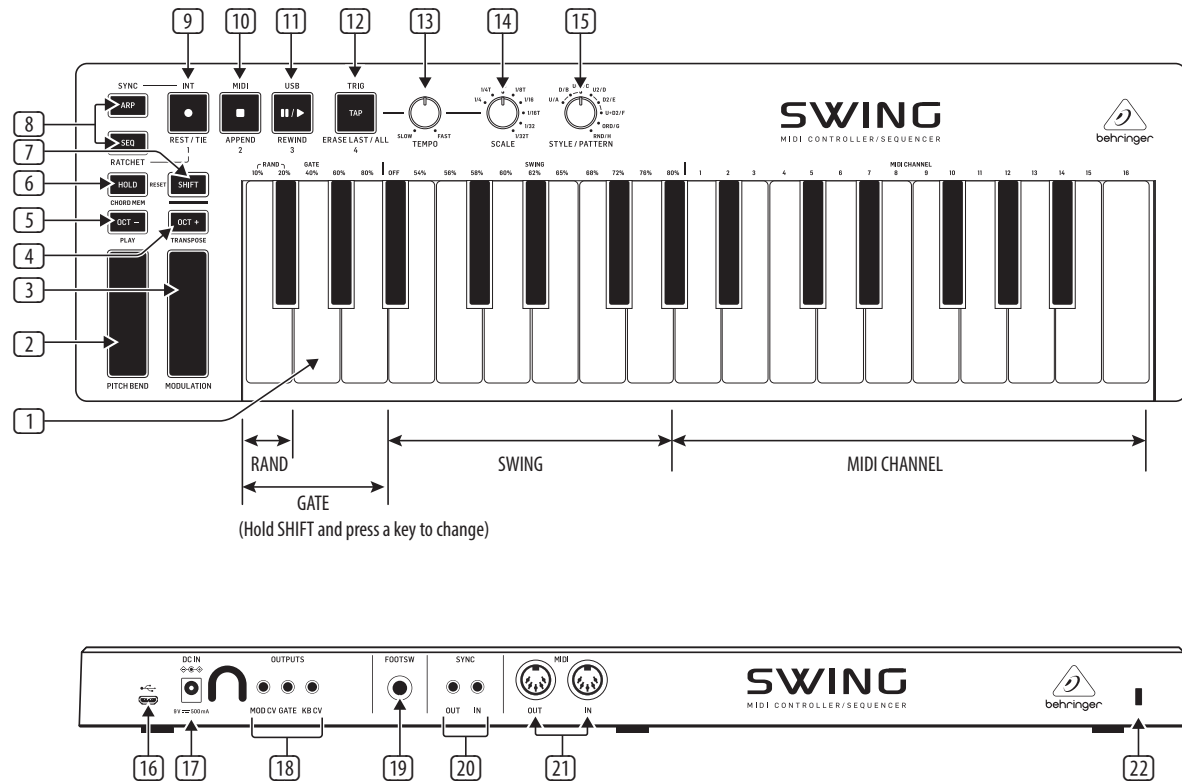


モジュラーシンセシステム



SWING コントロール

ステップ 2: コントロール



- ① **鍵盤** – 鍵盤はベロシティおよびアフタータッチ対応のコンパクトサイズ 32 鍵です。

SHIFT (シフト) を長押しした場合、各キーは、それぞれのキーの上に印字されている第二の機能で動作します：

最初の 5 個のキーは、アルペジエーターまたはシーケンサー動作中に、ゲートを 10%～80% の範囲で変更します。SHIFT キーと 1 および 2 を押すと、ランダムゲートとなります。

次の 11 個のキーは、アルペジエーターまたはシーケンサー動作中に、SWING (スウィング) をオフ (50%) ～80% の範囲で変更します。

残りの、右側から 16 個のキーは、MIDI チャンネルを 1～16 の範囲で変更します。

- ② **PITCH BEND (ピッチベンド)** – ピッチの高低を表情豊かに変化させます。ピッチはリリースすると中央位置に戻ります (ピッチホイールと同様)。

- ③ **MODULATION (モジュレーション)** – パラメーターを最小から最大までの間で表情豊かに変調させます。リリースすると同じレベルを保ちます (モジュレーションホイールと同様)。

- ④ **OCT+ (オクターブプラス)** – 1 回押すごとにピッチを1オクターブ上げます (最大 +4)。オクターブが上がるほど、スイッチの点滅速度も上がります。

オクターブ下げる場合は OCT- を押し、両ボタンを押すとリセットします。

シーケンサープレイ中に SHIFT と OCT+ を押し、鍵盤のいずれかのキーを押すと、プログラムがそのキーにトランスポーズ (移調) します。

- ⑤ **OCT- (オクターブマイナス)** – 1 回押すごとにピッチを1オクターブ下げます (最大 -4 オクターブ)。オクターブが下がるほど、スイッチの点滅速度が上がります。

オクターブ上げる場合は OCT+ を押し、両ボタンを押すとリセットします。

SHIFT と OCT- を押すと、シーケンサーのプレイ中にキーボードプレイ (KYBD PLAY) が可能になります。

- ⑥ **HOLD (ホールド)** – キーをリリースした時にアルペジオをホールド、または、最後のキーのホールド中であれば、アルペジオにさらにノートを追加します。

SHIFT および HOLD を押して Chord (コード) モードに入る、またはモードを終了します。詳しくは『はじめましょう』の章をご覧ください。

リセットするには、HOLD と SHIFT の両方を押しながら USB コードを接続します。

- ⑦ **SHIFT (シフト)** – デフォルトと異なるコントロール操作をする場合に使用します。鍵盤のキーは 2 つの機能を持ちます：ゲート、MIDI チャンネル、スウィングです。

SHIFT キーは回転式コントロール操作時、中間の値を“ジャンプ”するのに使用することもできます。

- ⑧ **ARP/SEQ (アルペジオ/シーケンサー)** – アルペジエーターまたはシーケンサーモードを選択します。

SYNC (同期) ソース – 内部シンク、USB、MIDI、および外部トリガーのいずれかの同期ソースを選択します。ARP (アルペジオ) を 3～4 秒間押し、内部シンクの場合は REC (レコーディング) を、MIDI 同期の場合は STOP (停止) を、USB の場合は PLAY (プレイ) を、外部トリガーの場合は TAP (タップ) を選択します。注意：外部シンクソースを使用しない場合は必ず内部シンクに設定します。さもないとテンポを制御できません。

RATCHET (ラチェット) – SEQ (シーケンサー) を 3～4 秒間押し、次のいずれかを選択します：

REC (1) = ラチェット無し

STOP (2) = ノートを 2 回リピート

PLAY (3) = ノートを 3 回リピート

TAP (4) = ノートを 4 回リピート

- ⑨ **RECORD (レコーディング)** – シーケンサープログラミング中に押すと、レコーディングをスタートします。

シーケンサープログラミング中、休符やタイの入力にもこのスイッチを使用します。

- ⑩ **STOP (停止)** – ここを押してアルペジエーターまたはシーケンサープレイバックを停止します。

シーケンスは、STYLE/PATTERN (スタイル/パターン) ノブに位置が印字されている、A-H に保存できます。

SHIFT および STOP を押すと、ノートを追加してシーケンスを付け足します。

- ⑪ **PAUSE/PLAY (一時停止/プレイ)** – 一回押すと、アルペジエーターレコーディングを開始します。ライトが点灯し、TAP スイッチが現在のテンポで点滅します。再度押すとアルペジエータープレイバックを停止し、スイッチが点滅して、一時停止中であることを示します。

プレイバック中、SHIFT および PAUSE/PLAY を押すと、アルペジエーターをリセット、またはシーケンサープレイバックを先頭に戻します。

- ⑫ **TAP (タップ)** – アルペジエーターまたはシーケンサープレイバックが任意のテンポになるまで、複数回タップします。TAP スイッチはテンポに合わせて点滅します。TEMPO ノブを回すと、テンポはノブの値に戻ります。SHIFT と TAP を押すと、シーケンスの最後の方からステップを消去しますが、短く押した場合は最後のステップを消去 (ERASE LAST)、長押し (4秒間) するとすべてを消去 (ERASE ALL) します。

- ⑬ **TEMPO (テンポ)** – アルペジエーターまたはシーケンサーのプレイバックテンポを調節します。SHIFT を押しながら調節すると微調整になります。TAP が現在のテンポで点滅します。また、TAP スイッチを使用して手動でも設定できます。

- ⑭ **SCALE (スケール)** – 8 種類の拍子から選択します：1/4、1/4T、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32 および 1/32T (三連符)。

- ⑮ **STYLE/PATTERN (スタイル/パターン)** – シーケンサーモードでは、8 つの保存済みプログラム のいずれかを選択し、アルペジエーターモードでは 8 種類のプレイ順より選択します。

背面パネル

- ⑯ **USB ポート** – コンピューターの USB ポートに接続し、USB MIDI を通じて DAW と併用したり、Control Tribe ソフトウェアアプリケーションによる制御をおこないます。

SWING は USB から給電されます。

- ⑰ **DC IN (DC 入力)** – 別売りの外部電源サプライを接続する端子です。それにより、コンピューターに接続しなくても SWING ユニットを使用できます。

- ⑱ **CV 出力** – SWING から外部モジュラー機器にコントロールボルトageを送信し、モジュレーション、トリガー、およびピッチを制御するための出力端子です。

- ⑲ **FOOTSW (フットスイッチ)** – 外部オブションフットスイッチを接続します。Control Tribe ソフトウェアアプリケーションで、ホールドまたはサステイン、もしくは両フットスイッチ機能を選択できます。

- ⑳ **SYNC (同期)** – 外部機器のシンク入力および出力を接続します。

- ㉑ **MIDI IN/OUT (MIDI 入出力)** – MIDI 鍵盤、コンピューター MIDI インターフェース、シンセサイザーなどの外部 MIDI 機器との MIDI 接続に使用します。

- ㉒ **ロック** – セキュリティケーブルを接続し、盗難のリスクを低減するのに使用します。

SWING はじめに

ステップ 3: はじめに

概要

本ガイド『はじめましょう』は、SWING のセットアップ方法と、機能についての簡潔な解説を記載しています。

接続

SWING をご使用のシステムに接続する際は、本書冒頭の接続例をご参照ください。

ソフトウェアセットアップ

SWING は USB クラスコンプライアント MIDI 機器ですので、ドライバのインストールは不要です。SWING をウィンドウズおよび MacOS で使用する場合、追加でドライバをインストールする必要はありません。

ハードウェアセットアップ

USB 接続またはオプションの外部電源アダプターは最後に接続するので、それらを除いたすべての接続を済ませます。

SWING の USB ポートを、コンピューターの USB ポートと接続する場合、コンピューターから給電されます。電源スイッチはありません；コンピューターがオンの間は、SWING もオンとなります。

コンピューターを使用しない場合は、本ガイドの仕様のページに記載されている定格に適合する、別売りの外部電源アダプターをご使用ください。

例えばサステインフットスイッチなどの接続作業をする場合、必ず SWING をオフにしてからおこなってください。

初期セットアップ

DAW を使用する場合、MIDI 入力を SWING に設定してください。設定は通常、DAW の環境設定メニューでおこないます。詳しくは、ご使用の DAW の説明書をご参照ください。

SWING の接続を変更したり、接続を解除する場合は、接続の着脱および変更をすべて完了後、DAW を再起動してください。

外部シンクまたは MIDI/USB MIDI シンクを使用しない場合は、必ず SWING の同期を 内部 (INTERNAL) に設定してください。

別の MIDI 機器と MIDI 接続をする場合は、SWING の MIDI 出力チャンネルを正しく設定してください。MIDI 出力チャンネルは、SHIFT と、最後の 16 個のキーいずれかを押して設定します。

Control Tribe ソフトウェアアプリケーションで、MIDI 入出力チャンネル等、SWING の複数のパラメーターを設定します。

注意：稼動中に外部 MIDI 機器の制御ができなくなった場合、SWING の MIDI 出力チャンネル設定が意図せず変わってしまっていないか、ご確認ください。

プレイ

SWING を有効なUSB ポートに接続、または外部電源アダプターを接続し使用している場合、セルフテストを実行し、プレイが可能な状態にします。

SWING のリセットは、HOLD および SHIFT スイッチを押しながら、USB または外部電源アダプターを接続します。その際、DAW または外部機器を再起動する必要があります。

キーボードをプレイすることで、DAW プラグインシンセまたはスタンドアローンソフトウェアシンセの制御、または MIDI または CV 出力を使用して外部シンセやその他の機器を制御します。

OCT+ および OCT- スイッチは、上下ともに最大で 4 オクターブ移動します。オクターブの移動幅が大きいほどスイッチが速く点滅します。いずれのスイッチも点灯していない場合は、キーボードは初期設定に戻っています。両スイッチを同時に短く押すと、初期状態に戻ります。

STYLE/PATTERN (スタイル/パターン)、SCALE (スケール) および TEMPO (テンポ)

アルペジエーターまたはシーケンサー動作でのみ使用するコントロール類です。いつでも調節可能です。

STYLE/PATTERN (スタイル/パターン)

- ARP モードでは、STYLE/PATTERN ノブでプレイバック順を以下より設定します：
 - U – 上昇順
 - D – 下降順
 - U+D – 上昇および下降
 - UP x2 – 上昇順で各ノートを 2 回ずつプレイ
 - DOWN x2 – 下降順で各ノートを 2 回ずつプレイ
 - U+D2 – 上昇し、2 回下降
 - ORDER – レコーディングされた順にプレイ
 - RND – 全ノートをランダムにプレイ

- SEQ モードでは、このノブでシーケンサープログラム A~H の保存および呼び出しをおこないます。

SCALE (スケール)

- SCALE ノブでは、ノートの継続時間を以下より選択します (ARP および SEQ モード)：
 - 1/4、1/4T (三連符)、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32、1/32T三連符は、1 つのノートを、時間長の等しいノート 3 つで分割したものです。

TEMPO (テンポ)

- TEMPO ノブでテンポを調節します。
- 微調整は、SHIFT を押しながら 同時に TEMPO ノブを回しておこないます。
- テンポは、TAP スイッチを任意のテンポで複数回タップすることでも変更可能です。TAP スイッチは現在のレートで点滅します。TEMPO ノブを回すと、テンポはノブの設定に戻ります。

GATE (ゲート) および SWING (スウィング)

アルペジエーターまたはシーケンサープレイバック時にのみ使用するコントロールです。アルペジエーターまたはシーケンサーのプレイ中は、次の要領で調節します：

GATE (ゲート)

鍵盤に「GATE」とラベリングされた 5 個のキーがあり、10%、20%、40%、60% および 80% を選択できます。これはノートの継続時間で、ノート間の時間のパーセンテージを表しています。

SWING (スウィング)

「SWING」とラベリングされた11個のキーでは、OFF (50%)、54%、56%、58%、60%、62%、65%、68%、72%、76%、80% を選択できます。

- SHIFT とこれらのいずれかのキーを押して、スウィングを選択します。プレイバック音を聴いて効果をご確認ください。

CHORD (コード)

コードモードでは、キー 1 つで和声をプレイできます。コードモードは ARP または SEQ モードで使用しますが、ノート数およびステップ数に上限があります。

- SHIFT および HOLD を長押しします。HOLD が速く点滅します。
- コードをプレイします (最大 8 ノート)。
- SHIFT および HOLD をリリースします。コードモードに入った合図として、HOLD の点滅速度が遅くなります。
- 任意のノートを押すと、コードをそのノートに移調してプレイします。
- コードモードを終了するには、SHIFT および HOLD を再度押します。

- SHIFT および HOLD を再度瞬間的に押すと現在のコードを継続し、両方をホールドすると新規コードへ進みます (手順 1 を繰り返します)。
- 注意：コードモード (HOLD が点滅) でアルペジオのホールドをする場合などは、HOLD を再度押すと、点滅が速くなります。するとコードモードのままアルペジオがホールドされます。HOLD を一回押すとホールドモードを解除し、SHIFT+HOLD を押すとコードモードを終了します。

アルペジエーター操作

- ARP (アルペジオ) を選択します。
- STYLE/PATTERN を使用してプレイバック順を選択します。
- SCALE を使用してノート長を設定します。
- STYLE (スタイル)、SCALE (スケール)、GATE (ゲート)、SWING (スウィング)、および TEMPO (テンポ) はプレイ前、またはプレイ中に調節します。
- Play/Pause (プレイ/一時停止) を一回押します。TAP (タップ) がテンポに合わせて点滅します。
- HOLD (ホールド) がオフの場合：任意のノートを長押しします。リリースしたノートはアルペジオから除外されます。ホールドしたノートに新規ノートが追加されます。全ノートをリリースすると、アルペジオは停止します。TAP の点滅中に任意のノートを押すと新規アルペジオを開始します。STOP を押します。
- HOLD がオンの場合：任意のキー全てを長押しします。前のノートが 1 つでもホールドされていれば、新規ノートを追加できます。全てのノートをリリースした後もプレイは継続します。TAP が点滅している間に任意のノートを押すと新規アルペジオを開始します。STOP を押します。HOLD がオンの間、Play/Pause を使用してアルペジオをプレイ/一時停止します。

注意：Control Tribe アプリケーションを使用して、HOLD を瞬間的/ラッチに設定します。

シーケンスのレコーディング

- SEQ (シーケンス) を選択します。
- STYLE/PATTERN を使用して A~H のいずれかを選択します。その場所に新規シーケンスが保存されます。
- SCALE を任意のノート長に設定します。
- REC を一回押します。すると赤色になります。
- 一度に 1 つのノートを押してリリースし、シーケンスをレコーディングします。その度にシーケンスは次のステップに進みます。
- 休符の入力は SHIFT & REC を押します (休符を追加する場合は繰り返します)。
- タイを入力するには、タイを設定するノートをホールドし、SHIFT & REC を押します (タイを追加する場合は繰り返します)。
- Legato (レガート) を作成するには、SHIFT & REC をホールドしながらレガートノートを入力します。完了したら SHIFT & REC をリリースします。
- STOP を押します。シーケンスは STYLE/PATTERN ノブで設定した場所に保存されます。

シーケンスのプレイ

- SEQ (シーケンス) を選択します。
- STYLE/PATTERN ノブを使用してシーケンスを選択します。
- Play/Pause を押します。
- SCALE (スケール)、TEMPO (テンポ)、SWING (スウィング) および GATE (ゲート) を上記の要領で任意に設定します。
- SHIFT および OCT+/TRANPOSE を押します。ノートを押すとシーケンスを移調します。
- SHIFT および OCT-/PLAY を押します。シーケンサーに合わせてプレイします。

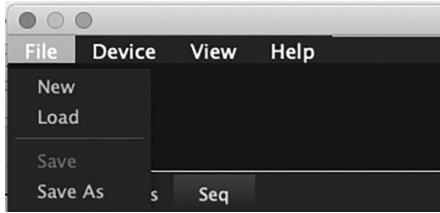
シーケンスのモディファイ

- SEQ を選択します。
- STYLE/PATTERN ノブを使用してシーケンスを選択します。

- Play/Pause を押します。
- 最後のノートを消去するには、SHIFT と TAP をホールドし、短く押した場合は最後のノートを消去 (ERASELAST)、長押し (4 秒間) の場合は全消去 (ERASE ALL) します。
- ノートの追加は、SHIFT と STOP を押します。すると赤色に変わります。赤く光っている間にノートを追加し、追加し終わったら STOP を押します。
- Play/Pause を押して聴きます。

シーケンスの保存

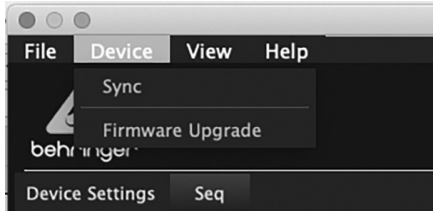
Control Tribe ソフトウェアアプリケーションでは、シーケンスを保存し、後から呼び出しができます。



ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com を定期的にご覧になり、SWING ファームウェアのアップデートの有無をご確認ください。Control Tribe ソフトウェアアプリケーションでは、次の要領でファームウェアのアップグレードができます：

- ユニットをオンにする前に HOLD、SHIFT、OCT+ および OCT- を押します。すると4つすべて点滅します。
- Control Tribe ソフトウェアを開き、Device/Firmware Upgrade (機器/ファームウェアアップグレード) を選択します。
- ファームウェアアップグレードが開始します。アップグレードが完了するまでユニットの電源を落とさないでください。



お楽しみください！

当社一同、新しい SWING をお客様に楽しくお使いいただけることを心より願っております。

SWING コントロールセンター

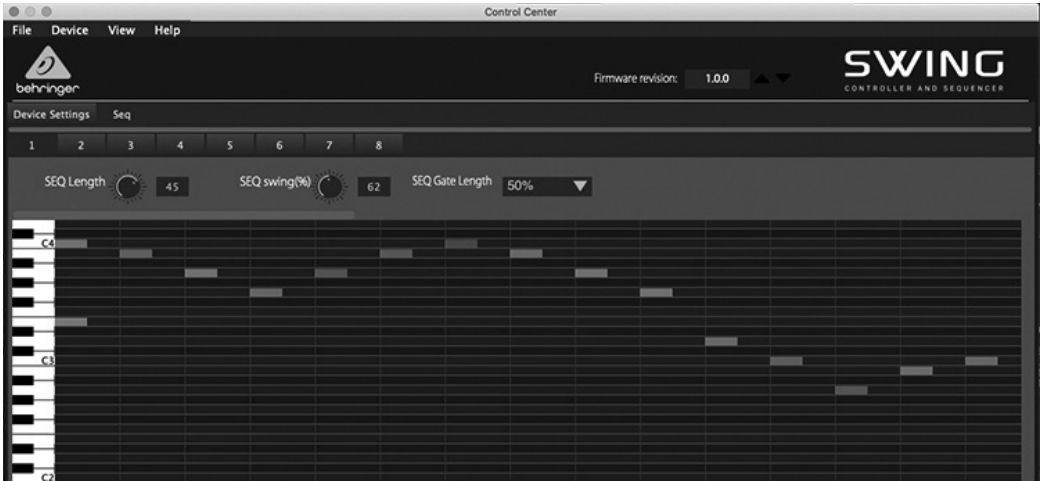
概要

無料の Control Tribe ソフトウェアアプリケーションは、MIDI 入出力チャンネル等の SWING パラメーターの設定に使用します。

SWING を USB を通じてコンピューターと接続し、アプリケーションを起動します (PC または MacOS)。

当社ウェブサイト behringer.com で、Control Tribe または取扱説明の更新の有無を定期的にご確認ください。

下のスクリーンショットは通常の Control Tribe ページおよびシーケンサーページです。



グローバル	
モード	シーケンサー、アルペジエーター、コードプレイ
コントロール	
キーボード	ベロシティとアフタータッチを備えた 32 個のコンパクトサイズのキー
ノブ	テンポ、可変
	スタイル/パターン、8 ポジションスイッチ
	スケール、8 ポジションスイッチ
スイッチ (バックライト付き)	シフト、ホールド/コード、オクト-/プレイ、オクト+ /トランスポーズ
	Arp/seq トグル
変調	タッチストリップ
ピッチベンド	タッチストリップ
トランスポート (seqおよびarp)	タップ、録音、停止、一時停止/再生
コネクタ	
MIDI イン/アウト	5 ピン DIN
足踏みスイッチ	¼" TS
USB	USB 2.0、マイクロタイプ B
同期	3.5 mm TRS 入力、出力
出力	3.5 mm TS、mod cv、ゲート、kb cv
電源	
タイプ	9V AC / DC アダプター (付属していません) または USB 電源
消費電力	最大1.5W (USB) または最大 2.7W (9V DC アダプター)
USB電源	0.3A @ 5V
アダプター駆動	0.5A @ 9V
物理的	
寸法 (H x W x D)	52 x 489 x 149 mm (2.0" x 19.3" x 5.9")
重量	1.5 Kg (3.3ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. **ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
2. **故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
3. **電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You